

## 安全データシート (SDS)

### 1. 物質または混合物及び会社情報

**製品名** : メルترون O-207

製品の名称 : ポリオレフィン系ホットメルト形接着剤  
製造会社名 : ダイアボンド工業株式会社  
住所 : 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津 4085  
担当部門 : 品質管理課  
電話番号 : 046-285-0985  
Fax 番号 : 046-286-4292  
メールアドレス : dbtec@dbbond.co.jp  
緊急連絡先 : 046-285-0985 (担当部門に同じ)  
接着剤の推奨用途と使用上の制限 : 接着用途に限る

### 2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響 : 特になし  
GHS 分類  
物理化学的危険性 : 分類できない  
健康に対する有害性  
急性毒性 (経口) 分類できない  
急性毒性 (経皮) 分類できない  
急性毒性 (吸入: 気体) 分類できない  
急性毒性 (吸入: 蒸気) 分類対象外  
急性毒性 (吸入: 粉塵・ミスト) 分類できない  
皮膚腐食性/刺激性 分類できない  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 分類できない  
呼吸器感作性 分類できない  
皮膚感作性 分類できない  
生殖細胞変異原性 分類できない  
発がん性 分類できない  
生殖毒性 分類できない  
生殖毒性・授乳影響 分類できない  
特定標的臓器毒性 (単回暴露) 分類できない  
特定標的臓器毒性 (反復暴露) 分類できない  
誤えん有害性 分類できない  
環境に対する有害性  
水生環境有害性 短期(急性) 分類できない  
水生環境有害性 長期(慢性) 分類できない  
オゾン層への有害性 分類できない

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素

絵表示 : なし  
注意喚起語 : なし  
危険有害性情報 : なし  
注意書き [安全対策]

取扱い作業に際しては、SDS取扱説明書などで注意事項の確認をする事。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

取扱後は手を良く洗うこと。

環境への放出を避けること。

#### [応急処置]

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。むりに吐かせないこと。

眼に入った場合：眼をこすったり無理にあけさせてはならない。直ちに医師に連絡をすること。

皮膚等に付着した場合：皮膚を多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の手当を受けること。

気分が悪い時は、医師の診断・手当を受けること。

漏出物を回収すること。

#### [保管]

涼しく換気の良い場所で、施錠して保管すること。

#### [廃棄]

内容物や容器を、地方自治体の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託する。

### 3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

化学名又は一般名：ポリオレフィン系ホットメルト形接着剤

主成分：ポリオレフィン等

成分及び含有量

化学名又は一般名	CAS No.	PRTR 法				労働安全衛生法		含有率 (%)
		特定一種	一種	二種	非該当	該当	非該当	
ポリオレフィン樹脂	社外秘				○		○	50～70
熱可塑性ゴム	社外秘				○		○	0～10
合成樹脂	社外秘				○		○	20～30
合計								100

### 4.応急処置

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。むりに吐かせないこと。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを使用していて容易に外せる場合は外すこと。直ちに医師に連絡をすること。

皮膚に付着した場合：皮膚を多量の水と石鹼で洗う。皮膚刺激が生じた場合は医師の手当を受けること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸し易い姿勢で休息させること。

### 5.火災時の措置

消火剤：水（初期消火）、粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂

特定の消火方法：付近の着火源を絶ち、保護具を着用して風上から消火する。

初期消火には、水散布、粉末、炭酸ガス、泡消火剤、乾燥砂等を用いる。

大規模火災の場合は、溶融した製品に水散布すると、熱水又は溶融した製品が

飛び散る事があるので、この場合は泡消火剤を用いて空気を遮断することが有効である。

消火活動は必ず保護具を着用して、風上から行なう。消火後は、製品の内部まで冷却されるまでロープを張り、人の立ち入りを禁止する。

消火を行なう者の保護 : 保護衣を着用するほか、状況によっては不浸透性手袋、呼吸保護具、保護眼鏡等の保護具を着用する。

## 6.漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 加熱溶解した製品が漏出した場合は、火傷に注意。必ず保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 : 現在のところ知見無し。

除去方法 : 加熱溶解した製品が漏出した場合は、製品が冷却してから紙やプラスチックフィルム等で包み込むようにして除去する。漏出した製品が冷却するまで、漏出した場所の周辺にはロープを張り、人の立ち入りを禁止する。作業の際には、眼、皮膚の露出を避けるように保護具を着用する。

付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処理すること。

流出その他事故が発生した場合は、警察署、消防署等の関連機関に連絡する。

## 7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

: 専用の溶解機器及び塗布機器を使用する。

溶解機器及び塗布機器を取扱う場合は、保護眼鏡、保護手袋、長袖作業着等を着用し、火傷防止の措置をとる。

消防法の指定可燃物に該当するため、みだりに近くで火気を使用しない。

注意事項

: 溶解温度は、製品説明書の示す使用温度範囲内とする。

蒸気が発生する場合は、局所排気装置等、排気の為の装置を設置することが望ましい。

安全取扱い注意事項

: 特に反応などはしないが、製品が熱い状態で引火性のものと接触させてはならない。

保管

適切な保管条件

: 直射日光を避け、容器を密閉し5℃～35℃の冷暗所に保管する。

安全な容器包装材料

: 弊社より出荷した包装容器を使用すること。

その他

: この製品を3,000kg以上、保管又は取扱う場合は、消防法の指定可燃物（可燃性固体類）に該当する。

貯蔵（廃棄のための保管を含む）及び取扱いの技術上の基準は、所轄の市町村条例や関連する法規制の定めるところに従う。

## 8.暴露防止及び人に対する保護措置

設備対策 : 局所排気装置等、排気の為の装置を設置することが望ましい。

保護具

呼吸保護具 : 状況により有機ガス用防毒マスクを着用する。

保護眼鏡 : 普通眼鏡、側板付き普通眼鏡、ゴーグル型保護眼鏡を着用する。

保護手袋 : 綿製手袋、耐熱手袋を着用する。

保護衣 : 長袖作業着、安全靴を着用する。

## 9.物理的及び化学的性質

物理的状態

形状 : 固体 (20℃中)  
色 : 淡褐色  
臭い : 無臭 (20℃中)  
pH : 測定できない  
物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲  
引火点 : 200℃以上  
軟化点 : 140℃以上(環球法)  
溶解性  
溶媒に対する溶解性 : 水に不溶  
比重 : 0.8~1.0 (20℃)

## 10.安定性及び反応性

安定性 : 通常の取扱いにおいては安定。  
危険有害反応可能性 : 火気により引火の危険性有り。  
避けるべき条件 : 現在のところ知見なし。  
混触危険物質 : 現在のところ知見なし。  
危険有害な分解生成物 : 現在のところ知見なし。

## 11.有害性情報

現在のところ知見なし。

## 12.環境影響情報

生体毒性 : 混合物としての知見無し  
残留性・分解性 : 混合物としての知見無し  
生体蓄積性 : 混合物としての知見無し  
土壤中の移動性 : 混合物としての知見無し

## 13.廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄物の処理及び清掃に関する法律の分類では、廃プラスチック類に該当する。  
産業廃棄物として許可の受けた専門業者に委託する。  
焼却時に有害ガスの発生を伴うので、焼却設備には排ガス処理設備が必要である。  
汚染容器・包装 : 産業廃棄物として許可を受けた専門業者に委託する。  
その他、廃棄物の処理及び清掃に関する法規制の定めるところに従う。

## 14.輸送上の注意

容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実にこなう。包装が破損しないように、水濡れや乱暴な取扱いはしない。火気注意。その他、消防法、船舶安全法等の法令の定めるところに従う。

国連分類 : 該当せず  
国連番号 : 該当せず  
容器等級 : 該当せず  
パッキンググループ : 該当せず

## 15.適用法令 (化学製品に特に適用される法規制)

消防法 : 指定可燃物 (可燃性固体類) (指定数量 3.000kg)  
労働安全衛生法 : 通知対象化学物質 該当せず  
PRTR 法 : 該当せず

有機溶剤中毒予防規則 : 該当せず  
船舶安全法 : 該当せず  
その他、地域の法規制の定めるところに従う。

## 16.その他の情報

参考資料 : 国際化学物質安全性カード (ICSC)  
安全データシート作成指針 (日本化学工業協会)  
接着剤の安全データシート作成手引き (日本接着剤工業会)  
溶剤ポケットブック (オーム社)  
JIS Z 7250 (日本規格協会)  
原材料メーカーの安全データシート

危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意して下さい。

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の実用を目的としたもので、特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、お取扱い願います。

# 特定の化学物質不使用情報シート

会社名           ダイアボンド工業株式会社  
住 所           神奈川県愛甲郡愛川町中津 4085  
担当部門       厚木工場 品質管理課  
電話番号       046-285-0985 FAX 番号 046-286-4292  
[管理番号]       作成           2010年05月13日

[製品名]                   メルترون   O-207

## [本シートの使用法]

弊社では平素より製品の物質管理及び情報収集に努めております。また情報は国内法の規定に従い SDS に記載して、お客様にお届けして参りました。しかし海外法等の規定から、特定の化学物質の詳細な含有情報をご要求頂く事が増えております。本シートはこのようなご要求にお答えして、SDSを補完する目的で作成しました。

## [製品中の特定の化学物質含有調査]

主要海外法規の規制物質を中心に調査いたしました。

物質群名	使用の有無	分析値
カドミウム及びその化合物	無	
六価クロム化合物	無	
鉛及びその化合物	無	
水銀及びその化合物	無	
TBT類、TPT類	無	
TBTO	無	
塩化パラフィン(短鎖)	無	
PBB類	無	
PBDE類	無	
PCB類	無	
ポリ塩化ナフタレン(塩素数が3以上)	無	
アスベスト類	無	
特定アゾ化合物	無	
オゾン層破壊物質	無	
放射性物質	無	
ホルマリン	無	

- \* 意図的に添加したことでの使用の有無を記載しました。
- \* 分析をおこなっている物については分析値として記載しています。

[その他]   以下の国内法上管理要求されている物質の含有量は安全データシート(SDS)を参照下さい。

◎化管法   ◎安衛法(通知対象物質)   ◎毒劇法(毒劇物)

本製品は下記国内法で製造・輸入を禁止されている物質を意図的に添加していません。

◎ 化審法(第1種特定化学物質)   ◎安衛法(製造禁止物質)   ◎毒劇法(特定毒物)